

第6回国際蜂療保健学術大会

標記の大会が、今秋2001年11月12(月)～13日(火)に、韓国大邱広域市のINTERBURGOホテルを会場に開催される。韓国蜂療保健研究会創立10周年記念行事として開催されるもので、基礎から臨床までアピセラピー関係を広くカバーする多くの研究発表が行われる予定。

大会参加申し込みの締め切りは8月31日。参加登録費はUS\$150。これには、会議、博覧会、国際親善交流晚餐、蜂針療法実技教室への参加権と、発表論文集、記念品などが含まれる。国際蜂産品保健博覧会(IAHA2001)も同時に開催される(1ブースの出展料はUS\$300)。

参加申し込み先: 韓国蜂療保健研究会事務局
大邱広域市中区鳳山洞高麗養蜂園内35-16

Fax: +82 (0)53 424-9659

E-mail: koryo24@kornet.net

詳細希望の方は、ミツバチ科学研究施設まで。

ハチミツの収集にご協力を

ロンドン王立芸術大学院のLea Petrouさんから、彼女の10月締め切りの修了制作「Lea's Honey Sample Collection」への協力依頼が来ている。ハチミツを通じて世界中の人を結びつけようという目的のこの作品に、世界中の養蜂家から集めたハチミツを加えたいとしている。ハチミツを送付する場合は、花の種類(写真があればなお良、雑蜜も可)、産地などの情報を添えて、10-20gのハチミツを下記あてに送っていただきたい。作品は2002年6月に展示され、概要は「ミツバチ科学」にも掲載の予定。

送付先: Miss Lea Petrou
Royal College of Art,
15-24, Howie St. SW 11 4AS, London
UK.

ベトナムから研修生

ベトナム農業・農村開発省養蜂研究開発センターから、2001年5月23日から6月9日までの18日間、Dong Minh Hai, Nguyen Ngoc Vung 両氏研究員が、ミツバチの人工授精技術の研修のため来日し、ミツバチ科学研究施設に滞在した。ベトナムではミツバチの品種改良に関する研究が進められており、両研究員の研修成果はこの中でも特に重要な位置付けとなる。



研修中のVung氏(左)とHai氏

編集後記

まずはちょうど1号分の刊行遅延になり多くの方々にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。自転車操業的な現状が続いているのは変わらないが、なるべく多くの読者の方に読んでいただけるような記事を集めることは心がけていく。企画案など寄せいただければ幸いです。多くの方にいつ出るのかと迫られ、苦しい思いもしたが、励ましも多くありがたかった。

今号は、11月のアピモンディア関係で、南アのHepburn教授にケープミツバチに関する興味深いミニレビューをいただくことができた。プロポリス関係は予告通り、数編の論文を掲載したが、今後もこの分野では臨床や効果、成分の化学的な側面、ミツバチとの関わりなど多数の研究論文を掲載できる分野でもある。今後の研究の進展にさらに注目したい。菅原氏からはキンリョウヘンに関する興味深い研究結果をいただいた。またNHKドラマの撮影協力も紹介した。(純)